

# 平成17年6月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成17年5月13日

上場会社名 プレジジョン・システム・サイエンス株式会社（コード番号： 7707 大証 ヘラクレス市場）  
 （URL <http://www.pss.co.jp/>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 田島 秀二（TEL 047-303-4800）  
 責任者役職・氏名 取締役業務本部長 秋本 淳

## 1 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

## 2 平成17年6月期第3四半期の業績概況（平成16年7月1日～平成17年3月31日）

### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年6月期第3四半期	2,123	44.1	79	-	81	-	95	-
16年6月期第3四半期	1,473	16.3	207	-	249	-	255	-
(参考)16年6月期	2,506	3.0	126	-	174	-	181	-

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
17年6月期第3四半期	2,292	97	-	-
16年6月期第3四半期	6,489	75	-	-
(参考)16年6月期	4,539	04	-	-

(注) 持分法投資損益 17年6月期第3四半期 - 百万円 16年6月期第3四半期 - 百万円 16年6月期 - 百万円  
 期中平均株式数 17年6月期第3四半期 41,468株 16年6月期第3四半期 39,352株 16年6月期 39,877株

会計処理の方法の変更 無

売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

17年6月期第3四半期及び16年6月期第3四半期の営業利益等の対前年同四半期比増減率につきましては、営業利益等がマイナス値であるため記載しておりません。

17年6月期第3四半期及び16年6月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、新株予約権残高等がありますが、当期純損失が発生しているため記載しておりません。

17年6月期第3四半期及び16年3月期第3四半期に係る数値につきましては、監査法人の監査を受けておりません。

### (2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
17年6月期第3四半期	4,653	2,953	63.5	71,221	37
16年6月期第3四半期	4,490	2,958	65.9	71,372	38
(参考)16年6月期	4,874	3,032	62.2	73,138	16

(注) 期末発行済株式数 17年6月期第3四半期 41,468株 16年6月期第3四半期 41,448株 16年6月期 41,468株

## 3 平成17年6月期の連結業績予想（平成16年7月1日～平成17年6月30日）

	予想売上高	予想営業利益	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	2,900	90	100	115	-

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項につきましては、添付資料4ページをご参照ください。

平成 17 年 6 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

(1) 経営成績

	平成 16 年 6 月期 第 3 四半期 (前年同四半期)		平成 17 年 6 月期 第 3 四半期 (当四半期)		対前年 同期比 増減率	参考 平成 16 年 6 月期 (通期)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
売上高	百万円 1,473	% 100.0	百万円 2,123	% 100.0	% 44.1	百万円 2,506	% 100.0
売上総利益	568	38.6	896	42.2	57.7	952	38.0
営業利益	207	14.1	79	3.7	-	126	5.0
経常利益	249	16.9	81	3.8	-	174	7.0
当期純利益	255	17.3	95	4.5	-	181	7.2

当第 3 四半期は、中間期に引続き主力 OEM 先の 1 社であるキアゲングループ向けの DNA 自動抽出装置等が好調に推移したことから、売上高は 2,123 百万円（前年同期比 44.1% 増）と大幅な増収を確保いたしました。増収に加えて利益率の改善も功を奏し、売上総利益は 896 百万円（前年同期比 57.7% 増）と大幅な増益を確保いたしました。利益率に関しましては、外注費のコストダウンを引続き実施したこと、為替水準が 1 ユーロ = 138 ~ 139 円程度の円安傾向であったことから欧州 OEM 先への販売単価が上昇したこと、利幅の厚い自社販売が好調であったことなどから、前年同期比で 3.6 ポイント改善し 42.2% を確保いたしました。

一方で、開発費 284 百万円（前年同期比 33.3% 増）をはじめとして諸経費が増加し、販売費及び一般管理費は 975 百万円（前年同期比 25.7% 増）と大幅なコスト負担増加となり、営業損失 79 百万円の計上となりました。前年同期比では 128 百万円の赤字幅圧縮となっております。

また、営業外損益では、為替差益などから営業外収益 17 百万円の計上に対し、支払利息などの営業外費用 20 百万円の計上となりましたので、経常損失は 81 百万円となりました。前年同期比では 168 百万円の赤字幅圧縮となっております。

その他、業務提携先である英国テブネル・ライフサイエンス社の株式を保有している関係から、投資有価証券評価損 12 百万円を特別損失に計上したことなどから、当期純損失は 95 百万円となりました。前年同期比では 160 百万円の赤字幅圧縮となっております。

(新製品「ハンディ・バイオストランド」について)

新製品の糸状 DNA チップである「ハンディ・バイオストランド」ですが、3 月下旬に、当社と共同研究などの関係がある機関に向けて販売開始となりました。同製品は、下記の 4 つの器具から構成されており、セット価格で 1,490 千円（税抜き）にて初年度 50 セットの販売を目指します。5 月 18 ~ 20 日に開催される「国際バイオ EXPO」には大々的に展示し、国内市場に向けて本格的な販売活動を開始する予定であります。本製品は、ユーザー独自の DNA チップを簡単に作成できる点に優位性があり、バイオストランドの有用性を確認してもらうための啓蒙活動としての製品であります。本製品を利用させていただくことにより、目的を明確にした遺伝子診断チップへと発展させていきたいと考えております。

- ・「Handy Bio-Strand Stamper」... 糸状 DNA チップにスポットするための器具
- ・「Handy Bio-Strand Spinner」... スポット後の糸をコアピンに巻き取るための器具
- ・「Handy Bio-Strand Rotator」... スポットを UV 照射し固定化させるための器具
- ・「Handy Bio-Strand Scanner」... バイオストランドチップを解析するための器具

製品区分別の販売状況は、下表のとおりであります。

(製品区分別の売上高内訳)

	平成 16 年 6 月期 第 3 四半期 (前年同四半期)		平成 17 年 6 月期 第 3 四半期 (当四半期)		対前年 同期比 増減率	参考 平成 16 年 6 月期 (通期)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
DNA 自動抽出装置等	百万円 852	% 57.8	百万円 1,309	% 61.7	% 53.7	百万円 1,723	% 68.8
その他理化学機器	121	8.3	75	3.6	37.9	146	5.8
その他製品	113	7.7	155	7.3	37.2	136	5.5
商品(プラスチック消耗品)	386	26.2	482	22.7	25.0	499	19.9
その他営業収入	-	-	100	4.7	-	-	-
合計	1,473	100.0	2,123	100.0	44.1	2,506	100.0

DNA 自動抽出装置等

当区分は、当社の国際特許技術であるマグトレーション・テクノロジーを利用した自動化装置の区分であり、DNA 自動抽出装置の他、免疫化学発光測定装置も含んでおります。DNA 自動抽出装置等に関しては、バイオ研究分野の進展に伴い、多検体の短時間処理が必要となってくるため、その需要は拡大していくものと当社では考えております。

当第3四半期は、中間期に引続き主力OEM先の1社であるキアゲングループ向けの出荷が好調に推移したことから、614台の販売実績で売上高1,309百万円（前年同期比53.7%増）となりました。四半期毎の販売実績は下表のとおりであります。装置単価は機種により百万円台から3千万円台までの品揃えがあるため、変動しているものであります。

三菱化学ヤトロン社向けのOEM製品である小型免疫化学発光測定装置「PATHFAST」に関しては、この4月より正式に国内販売が開始されました。初期出荷に対応した装置は、中間期までに納品されたものを順次販売しておりますので、直近の第3四半期には出荷がありませんでしたが、4月以降の受注はいただいておりますので、第4四半期には順調な出荷が予想されます。また、今秋頃には海外販売も開始する方向で準備を進めておりますので、来期には大きく業績に貢献する製品に育つものと期待しております。

	平成15年6月期		平成16年6月期				平成17年6月期（当期）		
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
ロシユク <sup>®</sup> グループ <sup>®</sup>	278,599	338,875	170,680	182,498	196,165	594,508	140,965	150,943	163,194
キアゲ <sup>®</sup> ソク <sup>®</sup> グループ <sup>®</sup>	278,989	128,177	57,373	33,670	143,948	172,952	160,711	201,600	304,183
三菱化学ヤトロン	26,207	-	-	-	9,591	33,925	15,750	99,600	-
その他	22,290	14,650	27,727	6,943	23,598	69,538	6,217	14,300	52,476
合計	606,086	481,702	255,781	223,112	373,304	870,924	323,644	466,443	519,854
販売台数	276	176	89	101	161	297	150	232	232
販売単価	2,195	2,737	2,874	2,209	2,318	2,932	2,157	2,010	2,240

（注）前期、前々期の三菱化学ヤトロン社への販売は、社内実験機などの販売であり、本格的な製品としての販売は、当期から開始されたものであります。

#### その他理化学機器

当区分は、研究施設などで利用される各種自動化機器の他、各省庁やその外郭団体などからの受託研究開発事業の区分であります。

当第3四半期は、売上高75百万円（前年同期比37.9%減）となりました。当区分の売上高は、特注システムの受注動向により大きく変動いたします。現在はDNA自動抽出装置等の事業拡大に注力しておりますので、当区分の売上高に占める割合は低下していくものと考えております。

#### その他製品

当区分は、装置メンテナンスやスペアパーツ（交換部品）販売、自社販売のDNA自動抽出装置等に使用される核酸抽出・精製用のプレバック試薬、ソフトウェア開発などの区分であります。

当第3四半期は、売上高155百万円（前年同期比37.2%増）となりました。当区分の売上高は、装置の累計出荷台数に応じて拡大が見込める性質があるため、順調な伸長が期待できるものと考えております。

#### 商品（プラスチック消耗品）

当区分は、装置の使用に伴い消費されるチップやカートリッジなどのプラスチック消耗品の区分であります。当社のDNA自動抽出装置等に使用される専用の消耗品が中心となっております。

当第3四半期は、売上高482百万円（前年同期比25.0%増）となりました。当区分の売上高は、装置の累計出荷台数に応じて拡大が見込める性質があるため、順調な伸長が期待できるものと考えております。

#### その他営業収入

韓国ファイナンシャル・テクノロジー・インターナショナル社との間で、(株)ポストゲノム研究所と共同開発中の「タンパク質自動合成装置」にかかるアジア圏（日本を除く）での独占販売権付与の契約を締結しており、同権利代金の収入であります。ただし、同収入は装置開発や試薬入手ルート確保などに利用しておりますので、利益に与える影響は軽微であります。

#### （2）財政状態

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ221百万円の減少で4,653百万円となりました。現金及び預金が335百万円の減少、受取手形及び売掛金が181百万円の減少（前連結会計年度末に計上されていたスポットの大口案件の売掛金が入金となったことによるもの）、たな卸資産が364百万円の増加（新規OEM製品及び受注残の増加に伴う在庫の積み上げなどによるもの）となり、流動資産としては155百万円の減少で3,611百万円となりました。固定資産は、減価償却の実施などにより66百万円の減少で987百万円となりました。

負債合計は、長短借入金84百万円の減少となったことなどから、142百万円の減少で1,699百万円となりました。自己資本は、当期純損失95百万円の発生などから、79百万円の減少で2,953百万円となりました。以上より、自己資本比率は63.5%（前連結会計年度末は62.2%）となっており、財政状態は良好な状態を維持しております。

(3) 業績予想

業績予想には変更なく下記のとおりであります。当3四半期末時点でのDNA自動抽出装置等の受注残高は587百万円（前年同期比30.7%減）となっております。前年同期末には、日本赤十字社向けの大型機種の受注が計上されておりましたので、前年同期比では減少となっておりますが、今後3~4ヶ月内には出荷していく予定であり、これにプラスチック消耗品などのその他売上を勘案すれば、下記の売上予想に近い数字にて着地するものと考えております。

一方で、㈱ポストゲノム研究所と進めております「タンパク質自動合成装置」について、第4四半期（4-6月）において製品化に向けた開発支出を予定しておりますので、開発費負担が増加する見通しであります。したがって、4-6月期の営業利益は10百万円程度の赤字計上見通しとなりますので、通期の業績見通しに変更はありません。

なお、当社の輸出品はユーロ相場に影響を受けるものが多くなっておりますが、受注残における製品単価の前提としては1ユーロ=138.85円を採用しております。第4四半期（4-6月）において採用される平均レートとの乖離が5円ありますと、売上高および売上総利益ともに約10百万円程度の影響（円安ならばプラス、円高ならばマイナス）を受ける見通しとなっております。

	予想売上高	予想営業利益	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
連結業績予想	2,900	90	100	115
単体業績予想	2,570	80	95	110

以上

第3 四半期連結財務諸表

(1) 第3 四半期連結貸借対照表

区分	前第3 四半期末 (平成16年3月31日)		当第3 四半期末 (平成17年3月31日)		前連結会計年度末 (平成16年6月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
(資産の部)						
流動資産						
1 現金及び預金	2,328,040		2,201,062		2,536,976	
2 受取手形及び売掛金	469,113		537,851		719,544	
3 たな卸資産	618,235		796,208		431,757	
4 その他	66,312		76,463		79,662	
5 貸倒引当金	103		430		1,373	
流動資産合計	3,481,597	77.5	3,611,155	77.6	3,766,567	77.3
固定資産						
1 有形固定資産						
(1) 建物及び構築物	329,725		355,838		342,875	
減価償却累計額	69,687	260,038	82,883	272,955	72,905	269,970
(2) 機械装置及び運搬具	367,290		417,407		398,936	
減価償却累計額	211,099	156,191	276,001	141,405	230,255	168,680
(3) 工具器具及び備品	243,624		369,649		337,665	
減価償却累計額	141,668	101,956	228,094	141,554	158,573	179,091
(4) 土地		431,250		431,250		431,250
(5) 建設仮勘定		4,703		-		4,703
有形固定資産合計	954,139	21.2	987,166	21.2	1,053,695	21.6
2 無形固定資産						
(1) ソフトウェア	7,150		32,064		7,007	
(2) ソフトウェア仮勘定	16,779		-		21,579	
(3) その他	1,019		1,019		1,019	
無形固定資産合計	24,948	0.6	33,083	0.7	29,605	0.6
3 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券	28,314		19,802		23,290	
(2) その他	1,538		1,855		1,573	
投資その他の資産合計	29,853	0.7	21,658	0.5	24,864	0.5
固定資産合計	1,008,941	22.5	1,041,907	22.4	1,108,165	22.7
資産合計	4,490,538	100.0	4,653,062	100.0	4,874,732	100.0

区分	前第3四半期末 (平成16年3月31日)		当第3四半期末 (平成17年3月31日)		前連結会計年度末 (平成16年6月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
<b>(負債の部)</b>						
<b>流動負債</b>						
1 買掛金	226,271		411,935		437,511	
2 短期借入金	100,000		100,000		100,000	
3 一年内返済予定の長期借入金	445,737		391,608		490,939	
4 未払金	86,924		55,911		102,442	
5 未払法人税等	3,200		9,727		2,290	
6 賞与引当金	12,994		17,061		3,962	
7 その他	35,899		34,129		40,499	
流動負債合計	911,028	20.3	1,020,373	21.9	1,177,645	24.2
<b>固定負債</b>						
1 長期借入金	621,267		678,939		664,193	
2 繰延税金負債	-		342		-	
固定負債合計	621,267	13.8	679,281	14.6	664,193	13.6
負債合計	1,532,296	34.1	1,699,654	36.5	1,841,839	37.8
<b>(資本の部)</b>						
資本金	2,024,728	45.1	2,024,978	43.5	2,024,978	41.5
資本剰余金	2,491,012	55.5	2,491,267	53.6	2,491,267	51.1
利益剰余金	1,552,953	34.6	1,573,659	33.8	1,478,574	30.3
その他有価証券評価差額金	1,877	0.0	504	0.0	8,173	0.2
為替換算調整勘定	2,667	0.0	10,316	0.2	3,395	0.1
資本合計	2,958,242	65.9	2,953,407	63.5	3,032,893	62.2
負債・資本合計	4,490,538	100.0	4,653,062	100.0	4,874,732	100.0

## (2)第3四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期 (自平成15年7月1日 至平成16年3月31日)			当第3四半期 (自平成16年7月1日 至平成17年3月31日)			前連結会計年度 (自平成15年7月1日 至平成16年6月30日)		
	金額(千円)	構成比(%)		金額(千円)	構成比(%)		金額(千円)	構成比(%)	
売上高		1,473,060	100.0		2,123,385	100.0		2,506,015	100.0
売上原価		904,552	61.4		1,226,892	57.8		1,553,454	62.0
売上総利益		568,507	38.6		896,492	42.2		952,560	38.0
販売費及び一般管理費		776,184	52.7		975,499	45.9		1,078,996	43.0
営業損失		207,676	14.1		79,006	3.7		126,436	5.0
営業外収益									
1 受取利息	2,796			2,383			3,697		
2 受取配当金	23			17			26		
3 為替差益	-			11,286			-		
4 雑収入	2,766	5,586	0.4	4,142	17,830	0.8	3,574	7,298	0.2
営業外費用									
1 支払利息	23,555			19,823			30,619		
2 為替差損	2,502			-			3,515		
3 新株発行費	20,438			-			20,652		
4 その他	827	47,323	3.2	262	20,085	0.9	805	55,593	2.2
経常損失		249,414	16.9		81,262	3.8		174,731	7.0
特別利益									
1 固定資産売却益	-			966			-		
2 賞与引当金戻入益	1,016	1,016	0.1	-	966	0.0	-	-	-
特別損失									
1 固定資産売却損	53			115			53		
2 固定資産除却損	3,758			363			3,752		
3 投資有価証券評価損	-			12,508			-		
4 その他	6	3,818	0.3	-	12,986	0.6	-	3,806	0.1
税金等調整前当期純損失		252,216	17.1		93,282	4.4		178,537	7.1
法人税、住民税及び事業税	1,895			1,802			2,467		
法人税等調整額	1,272	3,167	0.2	-	1,802	0.1	-	2,467	0.1
当期純損失		255,384	17.3		95,084	4.5		181,005	7.2